

# すみた 議会だより



No.166

令和元年  
7月26日



「私についてきて！  
どこまで長くなれるかな？」

《世田米保育園》 関連記事20p

6月議会のあらし

②

議案審議

④

ふるさと住田会の集い

⑥

我が町政を問う（7議員が一般質問）

⑧

特集「エアコン設置について」

⑱

# 『自立圏』を形成

## 定住自立圏構想推進要綱の概要



# 必要な生活機能など確保

## 当面大船渡市と連携

●住田町定住自立圏形成協定議決に関する条例【条例制定のねらい】  
定住自立圏は一定の要件を満たした市（中心市）と近隣市町村が連携・協力し、必要な生活機能などを確保しながら定住の受け皿を形成するもの。

当町では、人口減少が進む中、定住自立圏形成協定を締結し、①医療福祉、教育などの生活機能の強化、②地域公共交通、道路などのインフラ整備の結びつきやネットワークの強化、③人材育成や市町職員の交流など圏域マネジメント能力の強化の観点から連携する取り組みを進める。

6月定例会は、6月11日から14日までの会期で開かれました。一般質問には7議員が登壇し、当局と論戦を交わしました。当局提案議案12件のうち、本年度一般会計補正予算など11件を可決。一方、10月1日に施行予定されている消費税増税に伴う関係条例整備に関する条例案は、賛成少数で否決されました。

請願2件と「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」を採択し、国などに意見書を提出する議員発議案も可決しました。

## ☆令和元年6月補正予算の主な事業

- プレミアム付商品券システム導入委託料
- プレミアム付商品券発行事業費補助金
- 検診・予防接種（風疹）委託料
- 関係人口創出事業業務委託料
- コミュニティ助成事業補助金
- 移住・定住・交流推進支援事業補助金
- 移住支援金
- 飲料水施設整備費補助金
- 農業機械等導入支援事業費補助金
- 農林会館修繕料
- 農林業備品購入費（トラックスケール）
- 小中学校保健室等空調設備設置工事費



# 『定住』



▲広域連携を図りながら、住田町らしさをどう生かせるか

**問** 定住自立圏の連携自治体はどこか。

**答** 気仙2市1町が対象となるが、当面大船渡市との連携となる。今後、定住自立圏共生ビジョンの策定などを進める。

**問** 大船渡市と取り組むことで飲み込まれるのではないか。

**答** 定住自立圏にかかるとる事業は各自自治体

が取り組んだことに対して、それぞれ特別交付税が措置される。

**問** 広域によるスケールメリットをどう生かしていくのか。

**答** 連携できることはしながら、それぞれの生活圏域を向上させていこうとする取り組みである。

**学校** エアコン設置は猛暑時は稼働

**問** この夏までにエアコン稼働する自治体は、県下33市町村中5

市町村しかないとしている。町内の小中学校普通教室へのエアコン設置状況は。

**答** 全小中学校で設置工事は終了し、試験運転をやっている。猛暑時は稼働できる。

**問** 補正予算で小中学校へのエアコン設

置予算が増額された、設置場所は。

**答** 各学校の保健室と職員室への設置。

**問** 学童クラブ、放課後子ども教室、中央公民館図書室へのエアコン設置の考えは。

**答** 学童クラブ世田米ふれあい館には設置済み。有住の放課後子ども教室は、上有住地区公民館の建て替え、中央公民館図書室は役場周辺施設整備と合わせて検討。下有住児童館も合わせて検討していく必要がある。

**通学路** 危険ブロック塀

**問** 危険箇所なし

**答** 公共施設や小中学校、通学路でのブロック塀の安全点検は。学校施設周辺、通学路など見回り点検を実施したところ、危険箇所はなかった。

**通信** 積立金増額は更新に備えて

**問** 地域情報通信基盤施設整備費積立金が当初予算の約2倍増額されているがその要因は何か。

**答** 地域情報通信基盤は開局から10年以上が経過し、施設の光ケーブル、機器の更新に多額の費用を要するため積み立てを増やすもの。

**問** 4月からスタートした訪問看護ステーションの利用状況は。

**答** 利用者数は、町内の方が11人、町外の方が1人で12人となっている。

**商品券** プレミアム付は低所得者向け

**問** 民生費に計上されたプレミアム付商品券の内容は。

**答** 消費税10%への引き上げの影響を緩和するため、住民税非課税の低所得者や子育て世帯に配布するもの。

**問** 社会福祉総務費の郵便料が増額になっているが。

**答** プレミアム付商品券の関係で、該当者への申請書及び引換券の送付に係る郵便料である。

**問** 今回の予防接種の対象者は。

**答** 風疹の感染拡大が進んでいることから、定期の予防接種を受ける機会がなかった世代を対象とする追加的対策。

**財産取得** 取得する財産

小型動力ポンプ積載車 2台

取得予定価格 1573万円

■配備場所

第4分団1部（火の土）  
第4分団2部（高瀬）

公共施設利用料金や水道料金改定(案)

# 消費税増税関係条例を否決

【提案内容】

消費税及び地方消費税の税率改定に伴う関係条例整備に関する条例は、水道料金や運動施設、公民館などの各利用料金、テレビをはじめとした情報通信基盤施設使用料など16の条例を、今年10月1日施行予定の消費税10%を反映した額に改定する内容。

問

消費税10%の引き上げに伴う施設の手数料や使用料など関係条例の整備は、世の中の動きなど未確定の部分があり、未実施の場合の取り扱いはどうなるのか。

答

国の判断で施行の変更がある場合は、9月議会において所定の手続きをとって、その変更の内容に沿った手続きをとるよう提案する。

問

法律施行前の6月議会にて提案することになった理由は、

答

9月議会の提案では、10月1日から

の施行では周知期間が短く不親切ではないのかとの判断と財源確保の点から今回の提案となった。

採決の結果、賛成少数で、否決された。

反対

住民に負担増

佐々木春一 議員

消費税増税は、暮らしも経済も破綻する。増税に伴い、自治体として住民に負担をかける利用料や手数料の増額には同意しかねる。

賛成

負担仕方なし

瀧本正徳 議員

高福祉を望む以上は、ある程度の負担は仕方ない。増税に伴う経費は、あつてしかるべき。



議案第2号消費税及び地方消費税の税率の改定に伴う関係条例の整備

採決状況

○ 賛成 × 反対 - 議長

議案	荻原勝	佐々木初雄	佐々木信一	瀧本正徳	菅野浩正	佐々木春一	村上薫	林崎幸正	泉田是重	高橋靖	阿部祐一	菊池孝	議決結果 (賛成：反対)
議案第2号	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	-	否決 (5：6)

皆さんからの  
陳情  
請願

採  
択

◎教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充をはかるための請願

【請願者】

・岩手県教職員組合

・南リアス支部

【主な内容】

子どもたちの豊かな学びを実現するため、計画的な教職員定数改善を求めるとともに、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。

全員賛成

採  
択

意見書提出

【意見書提出先】

- ・衆議院議長
- ・参議院議長
- ・内閣総理大臣
- ・文部科学大臣

◎最低賃金の改善と小企業支援の拡充を求める請願

【請願者】

・気仙地域労働組合連合会

【主な内容】

政府は最低賃金を大幅に引き上げ、全国平均1000円の早期実現と全国一律最低賃金制度を確立させるとともに、中小企業負担を軽減すること。

全員賛成

採  
択

意見書提出

【意見書提出先】

- ・内閣総理大臣
- ・厚生労働大臣
- ・中央最低賃金審議会会長





▲役場停留所が新設され、役場や農協、商店の利便性が良くなったとの声が聞かれる。

# コミュニティバス

## 役場停留所を設置

### 奥新切・新田・奥火の土は直通便

本町が運行するコミュニティバスの川口上有住駅線の運行経路の変更と住田町役場停留所の新規設置及びそれに伴う運賃の改正を行う。

- 川口上有住駅線の起点を地域診療センターから住田町役場に変更。
- 住田町役場から奥新切、新田、奥火の土を経由し、上有住駅及び上有住集会センターまで、直通の運行距離を定める。

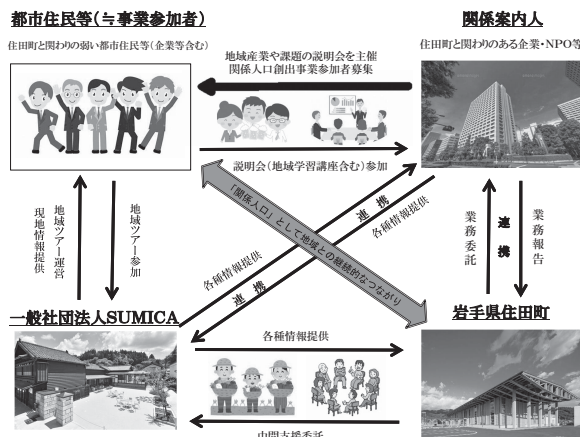
## 関係人口創出へ 地域内外の人材交流を目指す

**問** 「関係人口」創出事業の関連で旅費が増額されているが用途は。

**答** 今年度は民間企業を中間に入れて、都市部の民間関係者のネットワークでつながりを広げていく。

**問** 都市住民との交流が新たな仕事の創出

**答** 民間企業の方を「関係人口案内人」としてネットワークを広げ、住田町をPRしながら、ツアーに来ていただく。将来的には定住人口拡大を図りたい。



▲地域内外の人材交流が期待され、将来は移住・定住への結びつきが期待される。

## 子ども医療費病院窓口無料化

### 小学生に対象拡大

子ども、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部改正により、今年8月1日から医療費助成事業の現物給付(医療機関窓口支払無料化)の対象が県内統一で、未就学児と妊産婦から小学生までの児童と妊産婦に拡大するもの。

## 未利用間伐材の収集

### 住民主体で収集・運搬へ

森林資源活用プロジェクトとして、住民参加による未利用間伐材などの収集システム構築に着手する。

**問** 森林資源活用プロジェクトとして、住民参加による未利用間伐材などの収集システム構築に着手する。

**答** 町民参加による未利用間伐材等の収集システム構築事業でトラックスケールを購入し、森林組合の丸太収集土場への設置を考えている。

## 議員発議

◎新たな過疎対策法の制定に関する意見書

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効することから、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させる「新たな過疎対策法の制定」を要望するもの。

第17回

ふるさと住田会の集い

大盛況



— 笑顔で —



— 楽しく —



— 賑やかに —



— 思い出話に —

5月18日、東京のホテルラングウッドで、「ふるさと住田会の集い」が開催され、議長以下議員全員がそろって出席しました。2年毎の開催で、出席者は前回を上回る193名を数えました。会長・町長・議長の挨拶

に始まり、会は出身地域毎のテーブルで、昔懐かしい思い出話や、ふるさとの話題など、笑顔であふれていました。アトラクションとして、下有住の外館甚句踊り、はやせひとみさんのミニコンサートなど、楽

しく大賑わいの集いでした。最後には、恒例の住田音頭の大きな輪を作り、2年後の再会を約束し閉会しました。



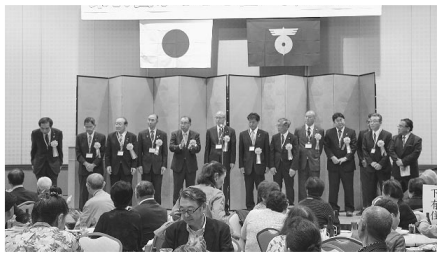
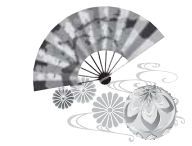
△住田町の歌姫 はやせひとみさん



△郷土の踊り 外館甚句踊り



△「住田音頭」総踊りの輪



△議員・来賓紹介



△集いの企画運営実行委員会一同



# 100年の石灰岩採掘

龍振鉱業株式会社  
(太平洋セメントグループ)

## 曇下地区鉱山開発

町政調査会



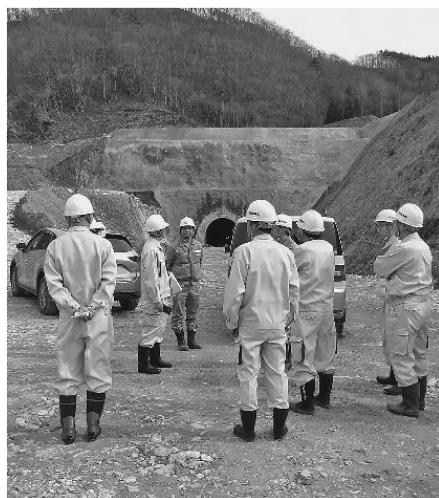
▲曇下地区鉱山現地で開発工事進捗状況の説明を受ける

100年の石灰岩採掘鉱脈があるとされる上居住下地区。  
去る4月19日、太平洋セメント(株)大船渡工場と龍振鉱業株式会社の事業概要と開発工事が進む曇下地区鉱山の研修、現地視察を行いました。  
2021年度よりの出

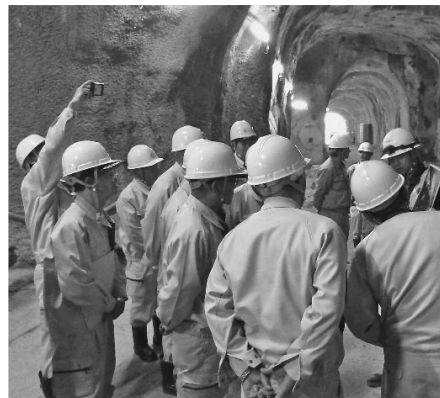
鉱開始をめざして次期鉱区開発工事が行われています。当日にとって一大プロジェクトであり、産業振興と雇用拡大が期待されます。  
当日は、石灰岩の採掘からセメント工場への搬入経路など現地で説明を受けました。



▲平成元年から採掘が行われている大平鉱区



▲石灰石の搬出が行われる曇下トンネル



▲小台トンネル坑口の構造を確認

### ■曇下地区開発工事概要





# 一般質問

6月  
定例会

一般質問は、議員が町長などの執行機関に対し、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などを聞き、報告や説明を求め、疑問点をたずねること。また、議員が主義、主張を述べ提案し論戦します。

一般質問の方法は、1回目は一括して質問しますが、2回目以降は1問ずつ質問する1問1答方式を採用しています。制限時間は、答弁を含めて60分です。

6月定例会では、7人の議員から16件の一般質問が行われ、町政全般について2日間にわたり活発な議論が展開されました。質問と答弁を要約した内容は、9～15ページでお知らせします。

なお、全文記録（議事録）は、8月上旬から役場庁舎2階の総務課と町ホームページ上で閲覧できます。

我が町政を問う

## 農林業振興・観光 子育て支援などで論戦

ページ	質問者(登壇順)	質問項目
9	荻原 勝	①次期人口ビジョン・総合戦略・総合計画 ②広報・PR体制
10	瀧本 正徳	①生活環境施策の推進 ②人生100年時代に向けての施策
11	林崎 幸正	①木工団地2事業体 ②CLT工場誘致 ③滝観洞の再開発
12	佐々木 信一	①ストロベリー振興 ②竹林整備
13	菅野 浩正	①第4次住田町環境基本計画
14	村上 薫	①SDGsと行政施策 ②林業振興 ③滝観洞振興策
15	佐々木 春一	①民生委員・児童委員の役割 ②子育て支援の充実 ③スポーツ・文化施設の整備充実





懇談会の住民の声を生かしたい。

議員のつぶやき

# 「目標人口」の見直しは

## 町長／住民と一緒に検討

我が町政を問う

荻原

勝議員



△町内5地区で開催された次期総合計画策定に向けた「住民懇談会」

**問** 住民アンケートにおける総合評価ともいえる「町の住みやすさ」に関する評価が、この2年で12%低下している。そのことをどう捉え、改善を図る考えか。

**町長** 施策の取り組みと評価は必ずしも一致しないと考える。町単独では限界がある施策や、一定の時間を要する施策もある。

今年度進めている次期総合計画策定作業の中で、各施策の「目標・規模・期限」を住民と共有し、理解を得ながら実効性を高めていきたい。

**問** 最も取り組むべきとされ、重要度が高く満足度の低いものに「結婚を望んでいる方への応援」があった。次期総合計画への位置づけは。

**町長** 「結婚・子育て」は一体として推進することが自然で効果的という結論に至った。

次期総合計画では、基本方向「ひと・まち・しごと」の「ひと」、重要施策「医・食・住」の「医」、そして関連施策の「結婚・子育て」として位置づけていく予定である。

**問** 次期総合計画の中で「2040年に4000

**問** 住田テレビの番組内容が縮減されているが。町長 開局から10年が経過した。経費が増加する中、情報基盤施設整備事業全体を見直し、サービスのあり方を検討した結果、縮減に至った。

**問** 町内においてテレビ



△町民の話題を大切に「住田テレビ」

ドラマのロケがあった。住田テレビで町民が視聴できる工夫はできないか。

**町長** テレビ、映画など映像媒体には、それぞれに著作権がある。町内で放送するには、映像権購入に多額の費用が想定されるので考えていない。

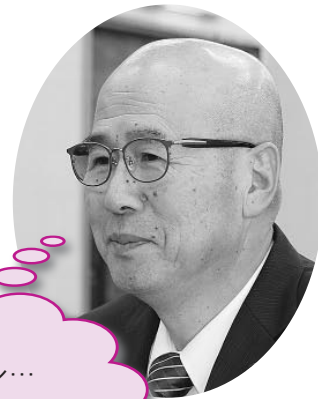
人」の目標人口は見直されるのか。

**町長** 町の将来像、実現手段などを具現化するためにも、目標人口の設定や見直しは、住民の意見を伺って進める。

**問** 住民説明会、パブリックコメントの実施は。

番組内容が縮減されたが  
経費増加で見直しへ

**町長** 計画策定前の6月中に住民懇談会を実施する。各分野に精通した住民委嘱による推進委員会、パブリックコメントなど住民意見を反映させていきたい。策定後の住民説明会も実施予定である。



議員のつぶやき

快適トイレ…  
地域の魅力ですネ

## 世小の森公園

### 周辺整備を

### 町長／竣工後の現地確認で検討

**問** 国道整備の進む「世小の森公園」付近は、来町者に住田らしさを感じさせるところである。のり面の忠魂碑周辺も含め整備を進めるべき。

**町長** 世小の森公園は、地域の方々が主体的に整備し、大切に維持管理してきた。現在は世小の森公園の整備予定はないが、工事完了後の周辺状況を確認しながら検討する。忠魂碑周辺などの急斜面部分整備の考えはない。

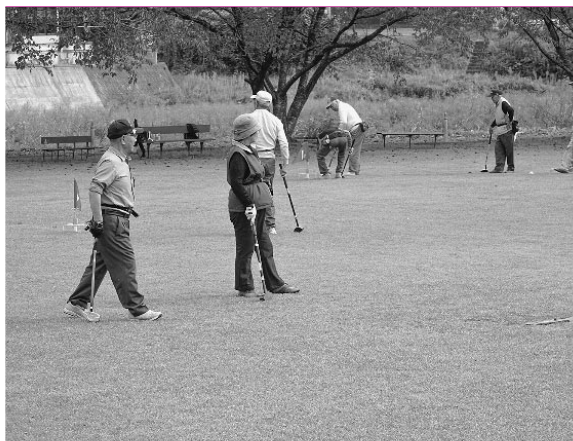
**問** まち家世田米駅への多くの来訪者を大切にしたい。観光振興対応の観点から、住田らしい快適な公衆トイレの設置は急務であると思うが。

**町長** 昨年は来訪者の安全と快適さ確保のため、駐車場を整備した。トイレは清潔に保つことが施設や町の印象につながる。管理体制や費用対効果を見極める必要があり、次期総合計画策定の中で検討を進める。

**問** 住田らしい蔵活用、「蔵トイレ」の考えは。

**企画財政課長** 「蔵トイレ」など、蔵の改修・活用の計画は、財政的な関係も含め今後の検討内容となる。

## 人生100年時代展望は 持続可能な地域づくりで



△人生100年を生き生き活動で  
(河川公園：グランド・ゴルフ風景)

**問** 超長寿時代、町民悉皆を意識した社会参加策、共生の地域づくり策を進めたい。人生100年時代への展望は。

**町長** 持続可能な地域づくりを進めることが責務である。誰もが役割を持ち、互いに認め合い、尊重し合う、支え合う共生の地域社会が、人生100年の長寿社会のあり方と考える。培われてきた文化を進化させ、町民が心一つに、楽しく幸せに暮らせる町づくり施策を役場全体で進める。

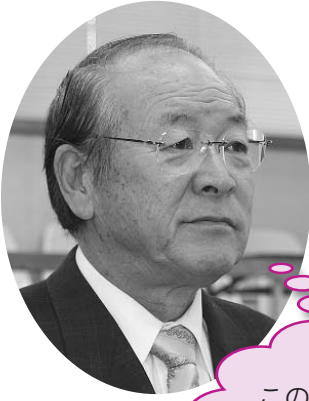
**問** 認知症の予防策は健康寿命延伸策と連動する。住田町らしい認知症予防策を一層図るべき。

**町長** 小さい町だからこそできる、きめ細やかに地域特性に合わせた住田町らしい認知症予防策の推進が重要である。住みなれた地域で、生きがいを持って、活動的に暮らしていきけるよう進める。生活習慣の改善や運動の習慣化、食生活の改善など、健康寿命の延伸策と合わせて認知症予防策を展開する。



△住田町らしい整備を進めたい「世小の森周辺」





この町のために  
是非すすめたい……

議員のつぶやき

# 対策チームの 検討状況は

## 町長／財務分析で返済計画を

**問** 町当局・町顧問・議会による木工2事業体貸付金等にかかる対策チームの検討状況は。

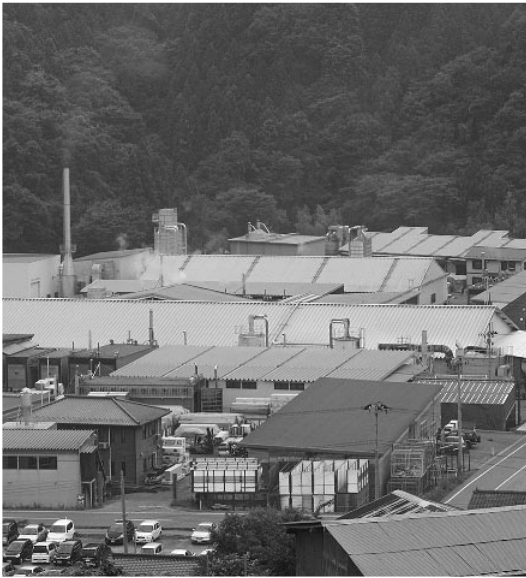
**町長** 対策チームの検討会は月1回程度で7回開催した。平成31年2月に2事業体に対し、具体的な支払い計画を求める催告書を手渡し、3月末に事業体から回答を得た。内容は、公認会計士を依頼し、平成30年度決算の財務分析の結果を9月末日までに報告を受ける。**問** 以後、どのように進めていく考えか。

**町長** 事業体からの財務分

析結果、事業運営のあり方、返済計画などの報告を受けて対応を協議する。

**問** 町内に、CLT工場の誘致を進めているが、誘致場所と現在の状況は。

**町長** CLT工法は、中高層建築の構造材としての利用が大きく期待されている。国では、令和6年度までに全国で50万㎡の生産体制を構築する目標。CLT工場誘致は、林業振興や雇用の創出が図られる。工場誘致場所は、まだ確定していないが、誘致に向けた取り組みを進めている。



△財務分析の結果が待たれる木工団地2事業体

### 観光センター建て替えを

#### 早急な建て替えは難しい

**問** 釜石自動車のインターチェンジとトンネルの名称に滝観洞が付いている。誘客を積極的にPRすべき。

も積極的な誘客の活動を進める。

**町長** 今年3月に釜石自動車道が全線開通し、併せて三陸自動車道の整備も進み、交通状況が大きく変化している。滝観洞インターチェンジの供用開始以後入込客数が伸びていたが、東日本大震災が発生し、入込客数が回復しないままの状況。今年の5月の連休は昨年までの同時期と比較して約1.5倍となっている。今後

**問** 老朽化した滝観洞観光センターを温泉も備えた施設に建て替えを。

**町長** 昭和46年に建設された滝観洞観光センターは、外観や周辺施設の老朽化が目立ち、補修や改修で施設整備している。温泉などの入浴施設は、全国的に横ばいで、利用者数の減少で厳しい経営状況と推察する。現在の状況下では、早急な施設の建て替えは難しいものと考ええる。



△滝観洞は住田の観光拠点施設

我が町政を問う

林崎幸正議員



議員のつぶやき

おいしい  
住田産イチゴを  
たべたいなア...

# イチゴ産地の復活は

## 町長／ストロベリープロジェクトで



△ストロベリープロジェクトに期待するイチゴ栽培農家

**問** 住田町にもう一度イチゴ産地を取り戻したい。その取り組みは。

**町長** かつては、販売額1億円以上のイチゴ産地だったが、現在は数戸での栽培。イチゴは、単位面積当たりの収益が高く、農地面積の少ない町に向いた品目であり、「農業で生きていける」品目の一つと捉えている。再び、イチゴ産地として新規就農者の育成を目指し、ストロベリープロジェクトに取り組むことにした。

**問** イチゴ農家の経営を地域おこし協力隊員に承継する取り組みは。

**町長** イチゴは、高度な栽培技術を要する作目である。地域おこし協力隊が、イチゴ農家のもとで3年間研修を行い、任期終了後は、研修先の経営を引き継ぐ農業の第三者承継の考えである。地域おこし協力隊員の募集をしたところ、応募があり、7月上旬に2次審査の面接を実施する予定である。

**問** 具体的な取り組みは。

**町長** 町内のイチゴ農家の育成と栽培支援初期投資が大きいことから、負

担軽減を図るための町単独事業による支援を予定している。



△竹林を有効に生かしたい

### メンマ加工の取り組みを

#### 補助金活用で

**問** 放置竹林整備と活用策をどう進めて行くのか。

**町長** 竹林整備事業を平成22年度から実施、これまでに308㍓の竹林整備を行ってきた。引き続き竹林整備事業を活用し、景観整備も含め林産資源の有効活用を進めていきたい。

**問** メンマ加工に取り組む考えは。

**町長** 第6次農業基本計画では、農産物に付加価値をつける6次産業化を推進。販売することは、農家の所得向上と町の魅力向上に重要と捉えている。メンマ加工には、特産品開発事業による支援がある。この補助金を活用し付加価値をつけた取り組みを進めていきたい。





議員のつぶやき

せめて森林林業の町にふさわしい道路沿いの景観を

町長／積極的な活動実践を期待

## 環境基本計画

## くらしにどう反映

我が町政を問う

菅野浩正議員



△町の玄関口 種山地区



環境に対する意識の高揚を図るよう、機会を捉えて周知に努めたい。

問 植栽された桜と自然林状態の景観、観光振興など、どのように考えて

問 廃プラスチック等による環境汚染は大きな課題であり、世界全体で連携して取り組むべき喫緊の課題と考えている。

問 国道397号線。町の玄関口でもある種山地区に観光振興策で植栽された、ヤマザクラの現

問 廃プラスチック等による環境汚染は大きな課題であり、世界全体で連携して取り組むべき喫緊の課題と考えている。

問 国道397号線。町の玄関口でもある種山地区に観光振興策で植栽された、ヤマザクラの現

問 プラスチックごみの環境への影響や処理の方法について、町民の理解を深め意識の高揚を図る取り組みが必要と思われるが。

問 国道397号線。町の玄関口でもある種山地区に観光振興策で植栽された、ヤマザクラの現

問 プラスチックごみの環境への影響や処理の方法について、町民の理解を深め意識の高揚を図る取り組みが必要と思われるが。

問 国道397号線。町の玄関口でもある種山地区に観光振興策で植栽された、ヤマザクラの現

問 プラスチックごみの環境への影響や処理の方法について、町民の理解を深め意識の高揚を図る取り組みが必要と思われるが。

問 国道397号線。町の玄関口でもある種山地区に観光振興策で植栽された、ヤマザクラの現

問 プラスチックごみの環境への影響や処理の方法について、町民の理解を深め意識の高揚を図る取り組みが必要と思われるが。

問 国道397号線。町の玄関口でもある種山地区に観光振興策で植栽された、ヤマザクラの現

問 プラスチックごみの環境への影響や処理の方法について、町民の理解を深め意識の高揚を図る取り組みが必要と思われるが。

問 第4次住田町環境基本計画が進められている諸施策が、自然・生活環境など暮らしにどのよう

問 「こぎつぱり条例」制定から3年が経過し

問 国道397号線。町の玄関口でもある種山地区に観光振興策で植栽された、ヤマザクラの現

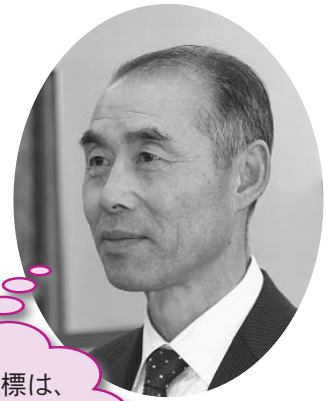


△国道397号線沿いの支障木処理作業

問 国道397号線。町の玄関口でもある種山地区に観光振興策で植栽された、ヤマザクラの現

問 国道397号線。町の玄関口でもある種山地区に観光振興策で植栽された、ヤマザクラの現

問 プラスチックごみの環境への影響や処理の方法について、町民の理解を深め意識の高揚を図る取り組みが必要と思われるが。



議員のつぶやき

SDGsの目標は、身近な活動と重ねると分かり易い

# SDGsで

# 町づくりを

## 町長／理念、町の姿勢に合致

※SDGs(エスディー・ジーズ)とは、国連が2030年までに達成しようと呼びかけている、世界を変えるための「17の持続可能な開発目標」。

**問** SDGsに対する認識と意義をどのように捉えているか。

**町長** SDGsは、貧困や地球温暖化など「誰一人取り残さない」という理念のもと、世界共通の解決すべき目標として掲げられたもの。この理念



△キャスター国谷裕子さんによるSDGs講演会(立教たかたコミュニティ大学-東海新報 平成31年2月23日)

は、小さな町だからこそ、きめ細やかな対応をするという町の姿勢に合致している。

画策定作業中。計画がある程度まとまった段階で、SDGsの目標やターゲットなどと照らし合わせ、持続可能性を実現させるバランスの良い計画づくりに努める。

**町長** 現在、次期総合計

**問** 滝観洞観光センターは、築47年経過し、老朽化が激しいうえ、階段も急勾配で4段ある。町を代表する観光施設として極めて不十分な状態にある。改築を含めた早期の周辺環境整備を行うべきと考える。

**町長** ハード事業の実施による財政負担は多大になると考えることから、今のところ施設の安全対策や老朽化対応を中心に

行っていく。計画が無いから答弁が消極的になるのではな

## 投資をせずして、活性化は無い 観光開発と協議しながら



△滝観洞手前の大駐車場付近平場にセンターがあるのが望ましい。

いか。投資をせずして活性化は無い。来年度からを期間とする次期総合計画に入れるべき。

**町長** 行政で行う事業・サービスは、優先順位も考えなければならぬ。

この施設の将来性や経営の安定性を含め施設を運営している住田観光開発(株)と協議しながら、観光センターの修繕や環境整備を進めて行きたい。

**問** 検討を本格化する住民参加型による間伐材を初めとした「未利用資源収集システム」の概要と

工程計画を示されたい。

**町長** 林内の切り捨て間伐材等を資源とし利用。地域住民等で収集・運搬して林業事業体へ売り渡し、対価として地域通貨を得る仕組み。本年度は、実証実験や講習会、啓発活動を展開し、来年度以降の本格運用を目指す。

**問** システムの課題は。

町長 ①活動する担い手の確保②持続可能な運営方法③間伐材等の収集に必要とする技術習得④搬出量に応じた適正価格の設定などが挙げられる。





福祉の守り手、民生・児童委員のみなさんに、「見守りありがとうございます。」感謝…

議員のつぶやき

# 多様化する 地域福祉課題

## 町長／行政・社協と連携

**問** 民生・児童委員の任期は3年。今年度は一斉改選期であるが、選任の状況は。

**町長** 今年の12月1日が一斉改選日。定員は34人。うち2人が主任児童委員に委嘱。自治公民館長に推薦をお願いしているが、人選に苦慮している地区もある。

**問** 民生・児童委員をサポートする社会福祉の専門職員を配置すべきだが。

**町長** 行政及び社会福祉協議会が連携をとりながら、各地域における課題解決に取り組んでいく。

**保健福祉課長** 地域福祉の専門職として、コミュニティソーシャルワーカーを社会福祉協議会が配置し、3人が実務にあたっている。

**問** 災害時における高齢者や障がい者の避難支援にどのように対応するか。

**保健福祉課長** 災害時の要援護者の名簿一覧は、民生委員を通して見直し作業をしている。自分の命、家族の命を守ることが第一にしながら安否確認、避難支援に当たっていただきたい。

### 子育て支援の充実を

#### さらにきめ細かく支援

**問** 改正子ども・子育て支援法が成立した。今後の子育て支援にどう生かすか。

**教育長** 本町では、国に先駆けて3歳児以上の保育料を無料とし、さらに子育て世帯のきめ細かい支援として、3歳児未満児の第2子の保育料は半額、第3子以降は無料としている。

**問** 今年の8月から子ども医療費は、医療機関の窓口での支払いが小学生まで無料化となる。中学生以降の対応は。

**町長** 本町では高校生までを対象に医療費の無償化を行っている。医療機関の窓口で一旦自己負担分を支払っていただくが、自動償還払いを導入し、手続きが必要なく口座に振り込まれる。

**問** 集会や芸術・文化の活動拠点としての役割を担う農林会館。大規模修繕を望む声が聞かれる。林業の町にふさわしい施設に改修すべき時期だが。

**町長** 建設から38年が経過。本年度は正面玄関タイルの修繕や自家発電の設備更新を進める予定。会館の利用にあたり緊急性のある修繕を行っている。大規模修繕は、公共施設全体のあり方を考慮し、役場周辺の整備計画が検討される時期に考えていきたい。

**問** 運動公園野球場の観着席増設を計画しているが見通しは。

**教育長** 第9次教育振興基本計画に掲載しているが、実施時期は今後検討していく



△町内には、「ふれあいサロン」など、共に支え合う輪が広がっている。

我が町政を問う

佐々木春一 議員

# 「災害時における相互応援に関する協定」を締結

平成29年6月29日、北海道斜里町と住田町は、「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。同協定は、災害が発生し、独自の町では、十分に被災者や被災地の救援、応急復旧ができない場合に相互に応援することを定めています。斜里町議会の方々住田町に来町していただいたこともあり、今回（7月2日～3日）の訪問となりました。

## 鈴木養太氏

## 『農業開拓』が結んだ絆 北海道斜里町

### 活動レポート①



△広大に広がる小麦、ジャガイモ、てん菜の畑



△農業開拓の先駆者と言われている鈴木養太翁

斜里町と住田町の関係のはじまりは、明治時代までさかのぼり、明治10年に斜里で最初に鋤をおろしたのが、上有住船作出身の鈴木（旧姓・小山）養太氏といわれています。

す。当時、うつそうとした原生林と湿地が広がる中、農業に適する地を「朱円」に見つけ、開拓に着手。これが斜里の農業のはじまりといわれていることから、鈴木養太氏は「農業開拓の祖」と称えられています。その他にも学校

の開設のため自宅を提供。地域の発展に身を惜しまず尽力した人物として、斜里の開拓の歴史に名をとどめています。鈴木養太氏の偉大な功績が縁となり、「両町の絆の第一歩」として災害協定が締結されました。



△朱円に建立されている「斜里農業発祥の地」記念碑を囲み、斜里町議会議員の皆さんと共に



斜里町って  
こんな町

### ③世界自然遺産・知床

流氷の影響が特異な生態系をつくり、海の生態系と陸の生態系との結びつきが顕著で、多くの貴重な動植物の生息地。知床半島の710km<sup>2</sup>が登録地。



### ①日本有数の食糧基地

約1万<sup>2</sup>の広大な農地で農家1戸あたりの経営面積は35<sup>2</sup>を超える。日本有数の穀倉地帯。ジャガイモ、てん菜、小麦が畑作三品。



### ②秋サケ漁獲量日本一

海岸に広がるオホーツク海は世界有数の魚場。サケ・マスの漁獲量は日本一。安定的な資源確保のためふ化放流事業や資源管理型漁業に取り組む。





# 大雨に備え

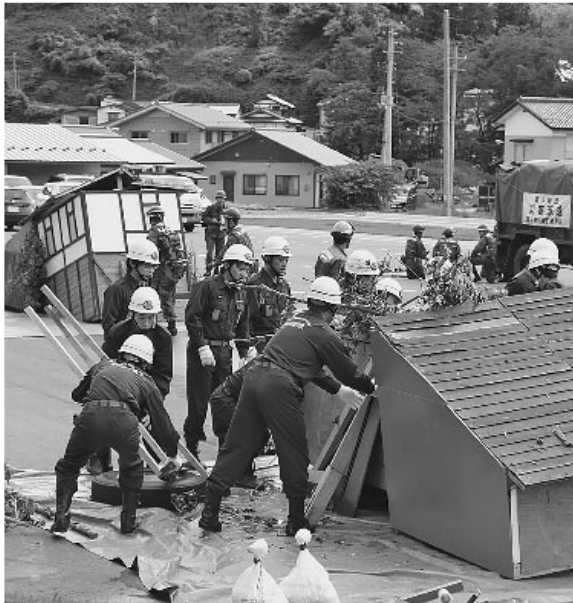
## 町民総参加総合防災訓練



△物資がない中でもできる行動を確認した自主防関係者による応急搬送訓練

防災意識の高揚を図ると隔年で開催している町総合防災訓練は6月23日、町内全域で行われました。町民総参加を呼びかけ、大雨被害を想定し、早朝からの自主防災組織の避難行動や、世田米の役場周辺では負傷者搬送訓練も行われ、関係機関が一丸となって命を守る行動を確認しました。さらに、特養老人ホームすみた荘入居者をはじめとした要援護者の避難誘導や、水害防御訓練も行われました。

活動レポート②



△消防団員による倒壊家屋内からの救出訓練



△初めて要支援者避難誘導訓練が行われたすみた荘



△消火器とバケツリレーで初期消火訓練を行う婦人消防協力隊



△「警戒レベル4」避難勧告により指定避難所に集まってきた町民の皆さん

# 一般質問その後 どうなりました

# あの提言

一般質問は、議員に与えられた重要な権限の一つですが、ここでは、一般質問のその後「どうなりました あの提言」として、過去の一般質問や議案審議などが町政にどう反映されているのかお知らせします。

掲載内容は、平成18年以降の質問から議会広報編集常任委員会で1項目を選び、その後の状況などを追跡しました。

特集

町と、議会と、町民は  
⑥7

質問

## 各教室に エアコン設置を

猛暑・酷暑が続いた。町内小中学校の各教室へ「エアコンの設置」を検討すべきでは。

答弁

## エアコン設置に係る 交付金

記録的な猛暑を踏まえ、国で補正予算が創設され、小中学校の普通教室と特別支援教室にエアコンを設置する。

その後



△この夏の猛暑に間に合うよう整備されたエアコン

## 令和元年6月 小中学校に設置完了

国の「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」などを活用し、町内小中学校各学年の普通教室と特別支援教室にエアコン設置工事が完了した。



# 救急業務の充実強化 救急車更新

## ● 大船渡地区消防組合議会のうごき ●

7月5日、第1回臨時  
会が大船渡市役所で開催  
され、議長の選出、財産  
取得にかかる議案2件が  
審議可決されました。

○消防本部配備「救助工  
作車」1台、取得予定価  
格1億5033万円。

現、救助工作車は16年  
経過し老朽化が著しい。  
国の緊急消防隊登録の予

定もある。消防力強化の  
ため更新。

○住田分署配備「高規格  
救急自動車」1台。取得  
予定価格2268万円。

現、救急自動車は、供  
用から8年経過、走行距  
離は18万kmを越え、老朽  
化が著しい。さらなる高  
度救急業務の拡充と救命  
率の向上を図るための更新。



△更新される高規格救急自動車

# 追跡



## 私の意見を 聞いて!

### 快適な環境に感謝



及川 賢一 さん

(世田米中学校 校長)

5月下旬、本校でエア  
コンを初めて稼働しまし  
た。ちよどその日は、  
県教委の先生の授業参観  
で、真夏日でした。昨年  
までは暑さで授業中の集  
中力が持続できない状況  
でしたが、心地よい風が、  
生徒のやる気を引き出し  
ているように感じました。  
子どもたちのため、県  
内でもいち早く設置にご  
尽力いただいた関係各位  
に心より感謝致します。  
今後は、環境と体に優  
しいエアコンの使い方を  
生徒と共に実践したいと  
考えております。

### 勉強に集中



やまと  
佐藤 倭 さん

(有住中学校)

今まで暑い日が続くと  
窓を全開にして、扇風機  
を回しても、教室はとっ  
ても暑くて大変でした。  
今年は、教室にエアコン  
が設置されました。  
今のところ、まだ使用  
していませんが、昨年の  
ような暑い日が続いたと  
きに熱中症の心配がな  
く、これまで以上に勉強  
に集中できるのでしっか  
りと学びたいと思いま  
す。  
教室の環境が整ったの  
で嬉しいです。これから  
も教育に寄り添う町づく  
りをお願いします。

## 傍聴に

来てけらっせん!!

次回の定例会は8月29日(予定)から  
開会は10時です。

詳しくは議会事務局へ ☎ 46-3754 (直通)  
E-mail gikai@town.sumita.iwate.jp



下有住字火の土  
佐藤 浩美さん

# 私も ひとつ 甘口 辛口

83



上有住字八日町  
松田 貞雄さん

## すべての人が生き生きと

●今活動していることは  
下有住地区婦人部の役員をしています。婦人部にも少子高齢化の波が押し寄せています。

●議会や町に望むことは  
我が家は4世代家族。障害がある、ないにかかわらず、老若男女すべての人が、お互いの人権やリスペクト(尊敬)を大切に、支え合い、誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会、「共生社会」の実現を望みます。住田で良かった。



△女性の意見発表の場となった女性議会

## 「すみちゃん」を詳しく

●今活動していることは  
「あなるすカフェ」と「ミニデイサービス」を楽しみにしています。

●議会や町に望むことは  
いわゆる2事業体への融資問題は、事業体だけの問題では済まないと思います。町の大きな課題であり、きちつとした対応をしてほしいです。



△お楽しみのミニデイサービス

## 表紙の写真 世田米保育園



7月12日に催された、森の保育園(夏)の1コマです。

当日はあいにくの雨模様でしたが、子どもたちは元気いっぱい、種山ヶ原「物見山」の頂上を目指して歩き切りました。

昼食後は、英語で自己紹介しながら行う楽しいゲームの時間。住田高校のお兄さん、お姉さんたちと交流を深めました。

## あとがき

▼人々が清らかに美しく和み合う「令和」の御代が始まりました。心と力を合わせ、住みよい住み続けたい住田町に。いい時代にしたと思う。

▼6月23日、住田町総合防災訓練が実施され、第1次訓練では、全町民の避難・安否確認訓練が行われました。自分事としての気構えや訓練の大切さを感じています。

▼豪雨で命を落とさない、逃げ遅れゼロを目指

し「警戒レベル」が導入されています。

▼住民目線を大切にしながら、議会だより紙面作りを進めています。皆様方のご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

(瀧本 正徳)

### 広報編集常任委員会

- 発行責任者  
議長 菊池 孝
- 委員長 佐々木春一  
副委員長 瀧本 正徳  
委員 菅野 浩正  
佐々木信一  
佐々木初雄  
萩原 勝

